

平成 18 年 5 月 18 日



各位

## 株式会社 アプリックス

東京都新宿区西早稲田二丁目 18 番 18 号  
(コード番号：3727 東証マザーズ)  
代表者 代表取締役社長 関野 正明  
問合せ先 最高財務責任者 山科 拓  
電話番号 03-5286-8436 (コーポレートコミュニケーション室)

### 米国 QUALCOMM Incorporated社向けのソフトウェア開発ならびに ソリューション供給開始に関するお知らせ

株式会社アプリックス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：関野 正明）は、QUALCOMM Incorporated（本社：米国カリフォルニア州、CEO：ポール・E・ジェイコブス、以下クアルコム）のベースバンドチップMobile Station Modem™(MSM™) MSM6280™ 向けのソフトウェアを設計・開発し、トータルソフトウェアソリューションを本日より提供してまいりますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. ソフトウェアならびにソリューションの内容と目的

技術革新と競争が続く市場において、携帯電話メーカーは、通信事業者ごとに異なる仕様に対応した製品を、先進の機能を追加しながらよりスピーディに市場へ投入する必要に迫られています。現在の多機能な携帯電話には膨大なミドルウェア(ソフトウェア部品)が搭載され様々な機能を実現していますが、これらのソフトウェア部品を一製品として纏め上げるための開発工数が膨大となり、これが大きな課題とされています。

当社は、これらの課題を解決するためにクアルコムのチップセットを採用し、各通信事業者向けの標準モデル(レファレンス・インプリメンテーション - RI)を開発してまいります。RIは、幅広い端末間でソフトウェア部品の高い移植性を実現するクアルコムのBREW®ソリューションの性能を最大限に活かしつつ、各通信事業者の要求仕様に対応したソフトウェア部品の交換を容易に可能にし、開発コストの低減と端末の多機能化を両立させることが可能となります。さらに、携帯電話メーカーが他社製品と差別化するためのビルド・ツー・オーダー (BTO) も実現できるよう、様々なサードパーティ製のみドルウェアやアプリケーションの追加が容易にできるような構造となります。

#### 2. 業績に与える影響

本件が当期業績に与える影響は軽微であり、平成 18 年 2 月 20 日に発表した業績見通しに既に含まれており、今回の発表に伴う業績見通しの修正はありません。また、来期以降の業績に与える影響は現時点では未定です。

以上